

令和5年度第1回石巻市地域公共交通活性化協議会

会議録

◆日時：令和5年8月25日（金） 午前10時30分から正午まで

◆場所：石巻市役所 4階 庁議室

1. 開会

委員数29名のうち、20名出席のため会議成立

2. 委員変更

14名の変更を報告

3. 会長あいさつ

石巻市の交通については、石巻市総合交通計画の前身計画である石巻総合交通戦略時代の期間も含めると5、6年くらい経っております。その後、会議体の組織体制等も少し変わりながら交通に係る協議を進めてきております。

大きくは市街地の中の公共交通をどうするか。路線バスをはじめとした公共交通をどうするのかということと、半島部を中心とした住民バスなどの地域の足をどのように確保していくのかということについて議論してきております。

今日もそれらを一部変える話であるとか、更には計画を評価するなど、これからの石巻市の公共交通及び補完的移動サービスも含めて、皆さまの足をどのように確保していくのか議論できればと思いますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。

本日もよろしくお願いいたします。

4. 協議事項

(1) 石巻市総合交通計画に基づく目標の達成状況評価について

(説明：本庁地域振興課)

施策展開の方向性1

(質疑応答)

委員 資料をざっくり読みましたが、少し分かりにくい部分や把握できていない部分もありますので、簡潔にポイントや現時点での状況評価、石巻市としての考え等、ご説明いただけるとありがたいです。

事務局 只今、5項目について説明させていただきました。

時間の都合上、今年度の実績の内容を省かせていただきましたが、例

例えば、一番上の「路線網の市全体の公共交通体系の統合に向けた検討回数」などにつきましては、内容に記載しているとおり、活性化協議会を2回開催、交通事業者ワーキングを3回開催したほか、河北雄勝北上地区再編及び桃生再編に向けた検討会議を4回開催するなど目標を大きく上回って達成しております。

また、次の「路線バスの運行時間の見直し」につきましても、蛇田線と河南線、山下門脇線について検討を行っております。

「運賃制度の改正に向けた検討回数」につきましても交通事業者ワーキングを3回開催しているということで目標を達成しております。

委員 私に気になっていたのは、色々な調査やヒアリングが行われていたと思いますが、例えば、住民バスの運行見直しに当たって、利用者の声。各地区に住民バスの運行協議会が設置されていると思いますが、そちらの会議の場でバスの利用者がどれくらい構成員に含まれているのか。それから、利用者の意見がどこまで反映されているのか気になるところです。この点確認させてください。

事務局 只今、委員からありましたとおり、地区ごとに運行協議会を設置しております。各地区の住民バスについては、運行協議会が主体となって実施していただいているところです。運行協議会の事務局については、各総合支所で行っておりまして、運行協議会のメンバーとしては自治会の会長であったり、住民代表の方に入っていただきまして、その年の取組の進め方等を協議していただいているところです。

会長 只今の質疑の中で重要な点がありました。
アウトプット指標の中で、利用者数や住民の方の満足度などそういうものも一つあるかと思いますが、今後どのような形で把握していくのでしょうか。

事務局 総合交通計画のP67にアウトカム指標の設定がございます。
こちらにつきましては先ほどご説明いたしましたとおり、5年後に調査することになりますが、こちらで公共交通の分担率や公共交通を使って外出した市民の割合を出すということになっております。

会長 今日出てくるのはアウトプット指標ということで、こういうことに取り組みましたという短期的なもので、その結果どうなったかというのは5年後に検証するという役割分担になっているということですね。

(評価)

会長 今回のアウトプットの達成率を見ますと180%、300%、0%、100%となっているのでA、A、C、Bの達成率なのではないかと思いますがいかがでしょうか。

委員 今回の方向性1の部分ですが、令和4年度の目標値になっているものと、5年後の目標値になっているものが混在しております。その辺り説

明があっても良いのかなと思います。

総合交通計画は令和4年度から令和8年度までの5年間の計画で、本日、皆さまにお示ししている目標値は4年度に達成することを目標としているものと、令和8年度までに達成する最終目標として設定しているものが混在している状況です。3番目のパターンダイヤ化の検討につきましては、最終目標5路線となっております。令和4年度の実績は0路線となっておりますが、令和5年10月からの実施予定ということで、令和4年度はそれに向けた準備を行ってきました。

また5番目の項目につきましては、キャッシュレス決済の対応でございますが、最終目標100%を目指して進めるものですが、令和5年度以降に実施するものであるため、今回評価はしないということになります。その辺りも踏まえて評価いただければと思います。

事務局 評価につきましては、項目ごとに評価いただくのではなく、方向性1として5項目を合わせた評価でお願いしたいと思います。

会長 今説明がありましたとおり、先ほど申し上げたかったのは、項目ごとにみるとA～Cに該当すると思うので、Bぐらいかなと思っておりましたが、委員からありましたとおり、3目については、必ずしも目標値を下回っているわけではないということでした。

ただ今回は、少し厳しめに、これから頑張っていたきたいという意味も含めて「概ね順調(B)」になるかと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

－全員承諾－

会長 1～2番については非常に頑張ってくださいと、3番についてはもう少し頑張ってくださいということも含めて、方向性1としては「B」とさせていただきます。

施策展開の方向性2

(質疑応答)

委員 8番目の内容に該当案件なしとなっておりますが、目標に設定されているものに対して「該当なし」とはどういうことでしょうか。補足を願います。

事務局 こちらの「ベンチや上屋を新たに設置したバス停」につきましては、ミヤコーバスの計画もありますが、市民の方から改修や設置要望があった際に実績として計上する項目となります。令和4年度については、そういった相談等もなく、ミヤコーバスとしても新しく設置する計画もなかったということで「該当案件なし」としております。

委員 なぜ申し上げたかといいますと、目標値に年2箇所とあるということは、ある程度該当するところがあってこの目標としたのかなと思います。

たが、実際は無かったということであれば、年2箇所として決め打ちして設定したのではなく、年2箇所意見や要望があろうかということ設定したという認識ですね。

(評価)

会長 6番は100%であるためB、8番は該当案件なしで0%ですが、そういった需要があったにも関わらず実施できなかったというものではなかったということなので、問題はないかと思います。

9番につきましては100%となっておりますので、こちらにつきましても全体としては「概ね順調(B)」で問題ないと思いますがいかがでしょうか。

委員 方向性のところで、令和4年度に障がい者団体や関係団体へのヒアリングが実施されたということで、私の方も大変良かったと思っております。引き続き、何かを計画・企画する際は障がい当事者や関係団体の方々に案を示してヒアリングを行っていただければと思います。

－全員承諾－

会長 それでは、方向性2としては「B」とさせていただきます。

施策展開の方向性3

(質疑応答)

特になし。

(評価)

会長 項目ごとに達成率を確認すると10番は100%、11番は達成率としては200%ですが1回か2回かの差であるため、概ね順調。12番、13番もそれぞれ100%ということで、基本は100%の達成率ということで全体としては「概ね順調(B)」で問題ないと思いますがいかがでしょうか。

－全員承諾－

会長 それでは、方向性3としては「B」とさせていただきます。

施策展開の方向性4

(質疑応答)

会長 18番のところですが、目標値55%から実績値5%増えたということでしたが、今後どのように推移していくことを想定しているのかお伺いできればと思います。

年5%ずつ増加しても5年後には100%にはなっていないと思いますがいかがでしょうか。

事務局 総合交通計画をお持ちの委員につきましてはP24をご覧ください。情報提供の主要コンテンツでの検索状況を記載しておりますが、石巻

市内には、鉄道、航路、路線バス、住民バス等の4つの交通モードがあり、主要コンテンツについては、ジョルダン、グーグルマップ、ナビタイム、駅すばあと、Yahoo!路線情報の5つがあります。

この5つのコンテンツと4つの交通モードで合計20という形になっております。資料1-2に記載しておりますとおり、令和3年度の現況値としては、既に20のうち、11については、デジタル的な情報の公開がなされておりました。その後、石巻市総合交通計画に基づき、オープンデータ化を進めた結果、令和4年度につきましては、住民バス等がグーグルマップに公表されたため、1つ増えた状況になります。

令和5年7月12日現在では、昨年度に引き続き、住民バス等がジョルダンに公表されたほか、路線バスが5つのコンテンツすべてに公表されたため80%となっております。

委員 17番の内容について確認させてください。

目標値は4交通モードで内訳は、鉄道、路線バス、航路、住民バス等で、令和3年度の1交通モードは何だったのかということと、令和4年度の実績内容に住民バス及び市民バスと記載がありますが、これは一括で住民バス等に入るのでしょいか。

事務局 4交通モードは目標値に記載しておりますが、鉄道、路線バス、航路、住民バス等になります。

令和4年度の実績には住民バス及び市民バスのGTFIS-JPデータの整備・更新を行う体制を構築することとなっておりますので、こちらについては住民バス等に一括で計上すべきものとなりますので、実績値としては1交通モードになります。大変申し訳ございません。

令和3年度時点の1交通モードは鉄道になります。ですので、令和4年度においては、鉄道と住民バス等の2交通モードということで50%が正しい数値となります。

路線バスと航路については、GTFIS-JPデータに反映はされておきませんので、今後の予定となります。

実績値は1交通モード、達成率は50%に修正させていただきます。

(評価)

会長 それでは評価に移りますが、15番は100%、17番は只今事務局から説明がありましたとおり、1交通モード増えたのみということでしたが、まだ期間がある中で1つ増え、残り2つが残っているということですので、必ずしも遅れているというわけではないのかなと考えております。それから、18番については1つしか増えておりませんのでやや不安ではありますが、スタートは遅れながらも1つ進めば一気に進むものでもありますので、必ずしも遅れているというわけではないと思います。

これを踏まえると、全体では「概ね順調(B)」で問題ないと思います

がいかがでしょうか。

－全員承諾－

会長 それでは、方向性4としては「B」とさせていただきます。

施策展開の方向性5

(質疑応答)

特になし。

(評価)

会長 それでは評価に移りますが、19番は100%、20番については年2回を目標としておりますが、交通事業者からの要望が無かったということで0件ですが、こちらについては先ほどと同様の扱いとします。21番については、研修会の開催を予定していたところ、開催できなかったということなので、厳しく見るとCですが、担当課と調整中であることを考慮するとBでも可となり、少し判断に迷います。委員の皆さまはいかがでしょう。

委員 研修会の開催という話が出ましたが、私は計画の時点で年1回の開催を目標値としているのでそれ以上開催することは難しいと思いますが、もう少し積極的な開催、それから柔軟な対応があってもいいかなと感じました。そうすることで今後、市民や関係者が積極的に公共交通について考える機会にもつながりますし、是非、本取組については計画通りというよりももっと積極的に行っていただけるように、期待と課題を両方の面から意見を出させていただきました。

会長 期待を込めて「C」が良いのではないかというご意見だと思いますが、皆さまいかがでしょうか。

－全員承諾－

会長 それでは、方向性5としては「C」とさせていただきます。

(2) 稲井地域乗合タクシー運行計画の変更について（説明：稲井支所）

（質疑応答）

特になし。

(3) 牡鹿地区市民バス運行登録の更新について（説明：牡鹿地域振興課）

（質疑応答）

委員 牡鹿地区においては市民バスのみ運行しているのでしょうか。
私の記憶ではミヤコーバスも運行していたと思いますので教えていただければと思います。

事務局 牡鹿地区につきましては、主要道路である鮎川から石巻に向かいます
県道にミヤコーバスが運行しております。そこから外れ、各集落を繋ぐ
ところには公共交通がございませんので、現在、市民バスをご利用いた
だいでいる状況です。

(4) 桃生イオンモール石巻線の間見直し及び運行ルートの修正について

（説明：桃生地域振興課）

（質疑応答）

委員 1点目、減便になる時間帯の利用状況は具体的にどれくらいだったの
か教えていただければと思います。

2点目、イオンモール石巻の敷地内のルートが変更になるということ
ですが、イメージができなかったのもう少し詳しく教えていただければ
と思います。

3点目、今回の変更にあたって、利用状況だけではなく、利用者の声
等も聴いているのか確認させてください。

事務局 1点目の、減便の対象となる上り第1便についてですが、4月が5人、
5月が9人、6月が12人、7月が8人。それから、下りの第3便につ
いては、4月が9人、5月が5人、6月が7人、7月が7人でした。

2点目についてですが、当初想定していたイオンモールからの退出口
にはイオンモール独自の規制があり、左折しかできない状況でした。今
回変更の主な点としては進入時と同じ出入口から退出するよう変更す
るものです。図面にありますとおり、駐車場で転回し、方向転換を行
います。

3点目については、4月から7月までの桃生イオンモール石巻線の稼
働日が82日、便数が656、利用者数が合計389人となっております。利
用者数の声としては、運行事業者である桃生交通から聞いたところ、主
な点としては、午前中に桃生総合支所方面の便がないため、追加してほ
しいというものがありました。もう少し詳しく申し上げますと、桃生総
合支所付近の地区には病院とスーパーがあります。当該地区に在住する

住民がこの2つの拠点に移動することを見越しまして、今回ダイヤを設定しております。

委員 1点目について、目が見えないため追加で確認となりますが、何時の便がなくなり、何時の便が始発になるのか教えてください。

2点目についてもイメージが湧かなかったため、後ほど指を使って直接教えていただければと思います。

3点目については、利用者の声が直接取入れられていることが分かりました。

事務局 減便する便について、上り総合支所発6:38、下りイオンモール発17:25がございますので、この2便が無くなります。

これを踏まえまして、上りの10:00及び13:07の便の時間を調整し、第1便を8:00、第2便を14:00に設定し、下りは第1便を8:45、第2便を15:00に設定しました。

会長 私から1点確認させてください。

運行車両が29人乗りになっておりますが、実際の乗車率は0.5人近くでアンバランスという気もしますが、この車両を使っている理由があれば教えてください。

事務局 本車両は運行事業者が所有しているものになります。

事業者との話し合いの中でジャンボタクシーへの小型化などの話も出ましたが、小型化を図っても大きなコスト削減にはつながらないとの意見をいただいております。現在2台で運行しており、片方の車両が運行できなかった場合でも対応可能なように本車両で運行しております。

5. 報告事項 路線バスのパターンダイヤ化について（説明：本庁地域振興課）

（質疑応答）

特になし。

6. その他

(1) 待合環境に係る案内・誘導サイン整備ガイドラインについて

（質疑応答）

委員 今回のガイドラインの作成に当たり、障がいのある当事者として意見を述べさせていただきます。

ガイドラインというものを作成する場合に、運行事業者にとっては重みのある基準となりますので、今回、障がい者団体からも意見があったと思いますが、ガイドラインの作成や計画の作成に当たっては、やはり障がい者団体や当事者に確定する前に案として提示していただき、意見を聞いてどうなるのが当事者にとっては重要です。ですので、最初どのようなガイドラインにすべきかということで意見を聞いていただ

き、その後、ガイドラインの案を示して当事者団体や事業者から意見をいただいた後で、本協議会の委員の皆さまの意見も伺って、実際に現場で活かせるガイドラインを作成いただければと思います。

事務局 このガイドラインの作成につきましては、障がいのある方をはじめ、高齢者の団体、子育て世代の団体、観光関連の団体に所属する方々と意見交換をさせていただきました。その意見交換の内容を盛り込んだものがお示ししているものとなります。

今後の作成に関しては、只今委員から頂戴いたしましたご意見を参考にさせていただきます。

(2) フィーダー系統補助金の活用について

(質疑応答)

委員 この事業を取り入れることによって制約を受けることはないでしょうか。

事務局 この補助金の交付を受けることで市の財政負担が軽減される部分が最大の利点でございます。

そのほか、必要となる手続きということで、活性化協議会の口座の開設や、色々な事務作業が必要ではございますが、路線自体への制約等はございません。

(3) その他

(質疑応答)

委員 前回、桃生の運行協議会の方で桃生イオンモール石巻線と桃生ワンコインタクシーが始まりました。そのワンコインタクシーが9月の時点で一旦報告をいただけるという説明だったのですが、次に開催されるのがいつか分かりませんので、今の収支状況や利用状況について説明いただければと思います。

事務局 ワンコインタクシーの月別から報告させていただきます。

4月は12日間で159回、利用者数が172名です。5月は12日間で146回、利用者数が166人、6月は13日間で202回、利用者数が221人、7月は12日間で204回、利用者数が230名となっております。4月から7月までを合計すると49日間で711回、利用者数が789人になります。運賃収入の合計額は356,000円、運行経費の合計は921,540円、現時点での補助対象額は565,540円となっております。

委員 私からは、この活性化協議会の年間の開催回数及び時間について、意見をさせていただきます。

今日も1時間半の時間の中で、多くの議題、資料の内容を見てもボリュームが多い会議となっております。やはり皆さんとよく考えてわから

ない部分を確認したり、より良いものにするためには意見を出し合う時間が必要かと思えます。その時間についても、もう少しゆとりのある会議時間で開催できないか考えました。これについて、今後検討いただけますと幸いです。

また、開催頻度についても、年2回では足りないと考えております。委員の皆さんもその都度変わったり、情報が入ればもっといろいろな意見も出てくると思えます。積極的な会議とするため、ゆとりの持った会議時間と開催回数を検討いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

事務局

大体これまでですと、今日でいうところの次第の2番目からの協議をいただいておりますが、今回につきましては、総合交通計画の2年目ということで、令和4年度の目標の達成状況評価の項目が入りました。特に今回につきましては、それがありませんために時間をとってしまいました。その点につきましては申し訳ございません。もう少しゆとりを持ったスケジュールにすべきと考えております。

年2回の会議では足りないのではないかというご意見を頂戴いただきましたが、本協議会については半年に1回、協議やご意見を頂戴して国に対する申請のための協議ということで行っているものでございます。一応、不測の事態が生じたときのために、もう1回追加で開催できるような予定では組んでおりますので、案件が多くなるとか、臨時で何か案件が生じれば、もう1回開催することができますので、今後の状況を見て判断したいと考えております。

7. 閉会

以上

石巻市地域公共交通活性化協議会 委員名簿（敬称略）

番号	氏名	役職名	備考
1	高橋 静子	石巻市町内会連合会 副会長	出席
2	加納 憲夫	河北地区行政委員会 大川地区副代表	出席
3	高橋 守次	雄勝地区住民バス運行協議会 会長	欠席
4	女川 清一	河南地区乗合タクシー運行協議会 会長	出席
5	高橋 善美	桃生地区行政委員会 副会長	出席
6	小山 要悦	北上地区行政委員会 副会長	出席
7	大澤 俊雄	牡鹿地区行政区長連絡協議会 委員	出席
8	的場 直也	石巻市PTA協議会 理事	出席
9	豊宮 ゆき	特定非営利活動法人ベビースマイル石巻 理事	出席
10	小山 賢一	みやぎ盲ろう児・者友の会 会長	出席
11	畑山 ふさ子	石巻市老人クラブ連合会 副会長兼女性部長	出席
12	伊藤 千晶	石巻商工会議所女性会 常任委員	欠席
13	山崎 菊治	社会福祉法人石巻市社会福祉協議会 地域福祉課長兼ボランティアセンター長	出席
14	植松 晋一	東北運輸局宮城運輸支局輸送・監査部門 首席運輸企画専門官	出席
15	菅原 達也	東北地方整備局仙台河川国道事務所 石巻国道維持出張所 所長	出席
16	山田 憲彦	宮城県企画部地域交通政策課 参事兼課長	欠席
17	田畑 幸浩	宮城県東部地方振興事務所 地方振興部長	出席
18	小山内 大祐	宮城県東部土木事務所 総括技術次長（企画担当）	欠席
19	吉田 光治	宮城県石巻港湾事務所 総括技術次長	欠席
20	武内 和也	宮城県石巻警察署 交通課長	出席
21	山下 哲哉	宮城県河北警察署 交通課長	出席
22	長尾 勝吾	株式会社ミヤコーバス 執行役員仙台石巻地区支配人	欠席
23	池田 憲彦	一般社団法人宮城県タクシー協会石巻支部 支部長	欠席
24	安倍 友一	網地島ライン株式会社 代表取締役	出席
25	三笠 亜希子	東日本旅客鉄道株式会社 小牛田統括センター 石巻駅長	欠席
26	姥浦 道生	東北大学災害科学国際研究所 空間デザイン戦略研究分野 教授	会長 出席
27	工藤 周平	石巻専修大学経営学部 教授	出席
28	梶原 正義	石巻市建設部 部長	欠席
29	岡 ひろし	石巻市復興企画部 部長	副会長 出席

オブザーバー

番号	氏 名	役 職 名	備 考
1	葛 ^か 西 ^{さい} 洋 ^{ひろ} 信 ^{のぶ}	東日本旅客鉄道株式会社石巻駅	出席